

芦原温泉の歴史

明治16年(1883)、坂井郡十楽村(現・あわら市堀江十楽)で井戸を掘ったところ、温泉が湧き出ました。「芦原温泉」の始まりです。翌年には、隣接する田中々村や舟津村でも温泉が掘られ、その後、次々と温泉宿が開かれ、多くの湯治客が訪れるようになりました。明治40年頃には温泉宿25軒が軒を連ね、福井を代表する温泉地に成長しました。

明治44年(1911)に国鉄三国線、昭和3年(1928)に三国芦原電鉄が開通し、県内外からの湯治客が増加します。このころには、映画館や劇場が開業して温泉街が整備され、庭園や露天風呂、ダンスホールなどを備えた温泉旅館も現れました。芦原温泉の魅力をうたった「芦原節」も作られました。

戦後、昭和23年6月の福井震災により、旅館の倒壊など大きな被害を受けました。さらに、復興をとげた同31年4月に「芦原大火」が発生し、全焼16軒、半焼309軒にのぼりました。しかし、その後の復興は早く、翌年9月には復興祭を開催し、再び多くの人で賑わう温泉街へと発展していきました。

ギャラリー展 芦原温泉 展示コーナー(1F エントランスギャラリー)

④ 明治時代から昭和30年代の絵葉書から当時の芦原温泉街の写真を紹介します。



④ 昭和30～50年代の芦原温泉紹介の各種パンフレットや旅館ポスターを紹介します。



④ 芦原大火からの復興のようすを伝える県政ニュースや番組を上映します。

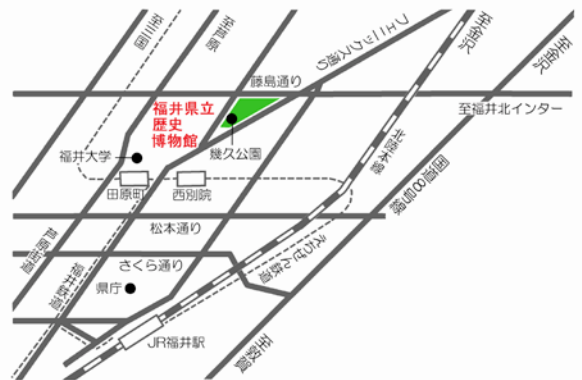


【ご利用案内】

開館時間 9時から17時まで(入館は16時30分まで)
 期間中休館日 3月22日(水)、4月12日(水)、19日(水)
 観覧料 通常の観覧料でご覧になれます
 一般100円、高校生・70歳以上の方無料 ※20名以上団体は2割引

【交通案内】

JR 福井駅より
 ◇京福バス 西口ターミナルから
 2番のりば【丸岡線大名町経由】「宮前町」下車
 1番のりば【大和田エコライン】「県立歴史博物館前」下車
 ◇コミュニティバス「すまいる」西口バスターミナルから
 6番のりば【田原・文京方面】「宮前町」下車
 ◇えちぜん鉄道【三国芦原線】「西別院」駅下車 徒歩約10分
 ◇福井鉄道「田原町」駅下車 徒歩約15分
 ◇車・タクシー約10分
 北陸自動車道福井北ICより 西へ約15分



福井県立歴史博物館

福井市大宮 2-19-15 TEL0776-22-4675
<http://www.pref.fukui.jp/muse/Cul-Hist/>